

令和 2 年度医療的ケア児支援の人材育成について

医療的ケア児等支援スーパーバイザー
三代澤幸秀(信州大学小児科)
亀井 智泉

1. 医療的ケア児等人材育成の経過

平成 30 年度から医療的ケア児等支援人材養成研修、同コーディネーター養成研修を行い、令和元年度には同看護リーダー育成研修、指導医育成の研修会も併せて実施した。

➤ 医ケア児等コーディネーター：140 名、 看護リーダー：17 名(重複取得 12 名)

2. 今年度の人材育成

(1) シリアスゲームによる医療的ケア児等支援人材育成教材の開発（三代澤医師）

【開発の狙い】医療・福祉・教育・母子保健等多様な職種との連携が不可欠であるが、互いの職域の専門用語や専門性・役割等の相互理解が不足している。また、コロナ禍のため、多人数が 1 か所に集まって行う形での研修の開催は困難であるため、独習可能で、かつ受け身の学習でなく、アクティブラーニングが可能な教材が必要である。

【教材の概要】今年度は、医療的ケア児が高度医療機関を退院し、行政の多様な制度を利用しつつ、多職種による支援を受けて成長し、地域での生活を確立するところまでを教材としたい。一つの支援事例を通して、時間的・空間的にも広がりのある複雑な流れをゲームの世界で追体験しつつ、医療的ケア児等の多職種連携による支援を理解する。

(2) 実習を伴う研修会（亀井 SV）

➤ 医療的ケア児等支援 基礎研修

福祉職向け：医療的ケア児の主な疾患と医療的ケア、医療デバイスを理解する

多職種向け：事例検討 自粛期間明けに体力の低下を見た先天性疾患の児のケース

医療職向け：気管切開、胃ろうのケア 等 医師からの講義・指導

➤ 医療的ケア児等コーディネーターブラッシュアップ研修

：資源開拓、支援の好事例報告、県から連携推進会議の報告 等

(3) 今後について

昨年度実施した実態調査の結果から予測される、医療的ケア児等の就園・就学、放課後や卒業後の支援に必要な看護職・リハビリ専門職の需要に応じる人材育成と、その技術向上・後方支援体制整備について検討。